

研究用アレイ蛍光検出装置(PTC-FDシリーズ)

当面受注生産

Model PTC-FD11; PTC-FD12

特徴

- 検出用カメラにScientific CMOSセンサーを採用
- イメージキャプチャソフトウェア付属
- 省スペース
- 励起光源にはLED照明を使用
- LEDの波長、蛍光フィルターの選択が可能
- 標準装備：励起光波長 531±20 nm
検出波長 593±20 nm
- 本体重量：約 16 kg (仕様により多少異なります)



蛍光検出装置 (PTC-FDシリーズ) 仕様一覧

Model	PTC-FD11	PTC-FD12
本体サイズ	35 H x 29 L x 25 W cm	45 H x 29 L x 25 W cm
検出器本体	検出用カメラ：ORCA Flash4.0(浜松ホトニクス); センサータイプ: sCMOS (16 bit)	検出用カメラ： optiMOS (Q-Imaging) センサータイプ: sCMOS (16 bit)
制御装置類	制御用PC付属(OS: Windows 7) ※デスクトップ、ラップトップを選択可能です	
インターフェース	USB 3.0	SerialLite PCIe
その他	LED光源、光源用電源内蔵	
付属ソフトウェア	HImage (イメージキャプチャソフトウェア)	イメージキャプチャソフトウェア

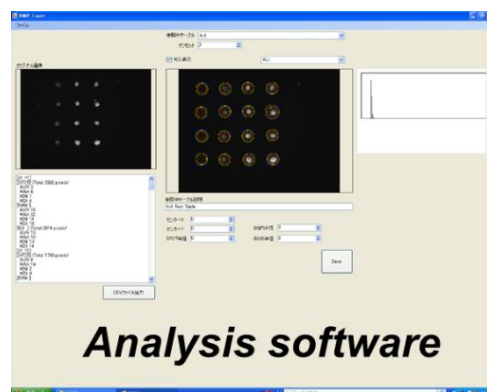
蛍光検出基の励起波長の追加 (別売)

蛍光検出装置に標準装備されている励起光源の波長は531 nm、蛍光フィルターは593 nmで、TAMRA色素に最適となっております。こちらの光源、フィルターは取り外しが可能となっておりますので、ご希望の波長をお申し付け頂ければ、対応することも可能です。現在即応可能な波長は右表の通りです。

TAMRA用フィルター	
励起	531±20 nm
蛍光	593±20 nm
FAM用フィルター	
励起	475±20 nm
蛍光	530±20 nm

蛍光検出器 オプションソフトウェア

オプションでご提供するソフトウェアは、アレイ化されたスポットを検出、解析することに特化したソフトウェアです。蛍光検出装置で取得したアレイ画像に対して最適なテンプレートを適用することで各スポットの蛍光強度とバックグラウンドの差を自動計算して表示させることができます。画像データを用いた解析ですので、蛍光検出器以外の装置で取得したアレイデータであっても解析することが可能です。ハイペップ研究所が外注で制作したソフトウェアです。ライセンス料は定価で100万円~です。



受注生産なので、解像度や感度の異なるカメラを用途に応じてお選び頂けます。
上表記載モデルは推奨品です。詳細はお問い合わせください。

定価 550 ~ 650万円 (仕様により異なります) (離島を除く、据付調整費含) 納期 3ヶ月

